

ISHIBASHI CULTURAL CENTER Museum Concert

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、コンサート開催を中止させていただく場合がございます。中止の場合は、ホームページ上にてお知らせします。なお、コンサート実施に際しては以下の点について皆さまのご協力の程お願い申し上げます。

- 風邪などの症状、発熱等がある場合はご来場をお控えください。
- 会場内に設置する手指用の消毒液をご利用ください。
- 会場内ではマスク着用など感染症対策へのご協力をお願いします。

石橋文化センターミュージアムコンサートのチケットは、
コンサートだけでなく石橋正二郎記念館もご覧いただけるお得なものとなっております。
この1日、石橋文化センターで音楽や美術に触れてみませんか？

石橋文化センターミュージアムコンサート



有村 純親
Sumichika Arimura
〈サクソフォーン〉

鹿児島県出身。東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。文化庁新進芸術家在外研修員。セルジー・ポントワーズ音楽院を経て、パリ国立高等音楽院を最優秀で修了。セルマー賞、フランスサクソフォン協会賞、パリ国際音楽コンクール大賞を受賞。サクシアーナ国際コンクール第1位、ミュンヘン国際音楽コンクールセミファイナリスト（日本人として最高位）。国内外のオーケストラと共演。リリースCD「ロマンス（with 松浦真沙）」、「サクソフォーン・ルネッサンス（Quatuor B）」、「ロシアン・マスターピース（saxaccord）」がそれぞれレコード芸術誌特選盤。海外での公演の他、イタリアやウィーンにてマスタークラスも行う。現在、名古屋音楽大学客員教授、昭和音楽大学及び大学院、洗足学園音楽大学、尚美ミュージックカレッジの各非常勤講師。Quatuor Bテナーサクソフォン奏者。またズーラシアンプラス・サクソフォックスのマルゴーのお友達としても全国各地で活躍中。2020年度より「Eオケ」顧問に就任。



音楽集団「Eオケ」実行委員会

“音楽で広がった輪”をもとに、音楽活動を展開するだけでなく、さまざまな社会貢献活動に取り組もう、という主旨で平成18年8月に結成。平成19年に運営・企画・音楽技術向上等、全般のアドバイザーとして、蒲池恵子先生を迎えた。さらに平成23年度、活動拠点とする久留米市立南筑高等学校「プロジェクトマネジメント委員会」で、学校と地域の連携事業の一環のためのモデルバンドとして認定を受け、学校を練習会場協力校として活動させていただく楽団です。現在、合唱2チーム（初級の木曜日チーム・上級をめざす日曜日チーム）、器楽チームを有する。トレードマークはお揃いの楽団Tシャツ。所属メンバーは、現在3歳児～88歳。「高校生のお手本であること」を唯一の入団条件とし、個性豊かなメンバーで活動している。地元久留米市での演奏会をはじめ、お祭りや施設・保育園等での演奏活動を展開しています。また、近年福岡市民のメンバーが増え、福岡市内の公共ホールや公民館等での演奏会や講座の機会が多いことから、2018年、あらたに福岡市支部事務局を開設し、より広域での活動も予定されています。現在、新規メンバー募集中。入団希望には随時対応します。

増本 藍 〈ソング&ダンス〉

福岡県小郡市出身。1998年から2015年まで劇団四季に所属「美女と野獣」で初舞台を踏む。「キャッツ」ディミータ、ボンバルリーナ、「クレイジー・フォー・ユー」テス、アイリーン、「ユタと不思議な仲間たち」ダンジャ、「コーラスライ」シーラ、「ウエストサイド物語」アニタ、「マンマ・ミーア」

ターニャ、「鹿鳴館」定子、「ふたりのロッチェ」ケルナー夫人、「リトルマーメイド」アースラ等を演じる。現在、各方面にてワークショップ他の講師をつとめるなど、ミュージカルを志す後進の指導にあたる。「Eオケ」練習会場協力校である久留米市立南筑高等学校のOB。



久留米市美術館は、休館中も石橋正二郎記念館を舞台に活動を続けます。

石橋正二郎記念館では、正二郎の人と歩みの紹介や、彼にかかわる絵画作品の展示をしています。美術館が休館中は、ワークショップや講座などさまざまなイベントなども記念館で行います。それらをまとめて、文化センターの噴水にちなんで「べりかんくらぶ」と名付けました。

※イベントの詳細は、久留米市美術館HPをご覧ください。

〈久留米市美術館休館期間 2021年12月13日(月)～2022年10月28日(金)〉 左記期間中は石橋正二郎記念館入館料無料

